

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年3月5日(2009.3.5)

【公表番号】特表2008-526821(P2008-526821A)

【公表日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-029

【出願番号】特願2007-549946(P2007-549946)

【国際特許分類】

C 07C 211/62 (2006.01)
C 07C 309/04 (2006.01)
C 07C 217/08 (2006.01)
C 07C 311/09 (2006.01)
C 07C 217/74 (2006.01)
C 07C 213/00 (2006.01)
C 07C 225/12 (2006.01)
C 07C 221/00 (2006.01)
C 07C 49/637 (2006.01)
C 07C 45/66 (2006.01)
C 07C 49/603 (2006.01)
C 07C 45/62 (2006.01)
C 07C 47/228 (2006.01)
C 07C 45/71 (2006.01)
C 07C 255/41 (2006.01)
C 07C 253/30 (2006.01)
C 07D 453/02 (2006.01)
C 07D 213/74 (2006.01)
C 07D 295/08 (2006.01)
C 07D 301/12 (2006.01)
C 07D 303/12 (2006.01)
C 07D 233/64 (2006.01)
C 07D 207/06 (2006.01)
C 07B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 07C 211/62
C 07C 309/04
C 07C 217/08
C 07C 311/09
C 07C 217/74
C 07C 213/00
C 07C 225/12
C 07C 221/00
C 07C 49/637
C 07C 45/66
C 07C 49/603
C 07C 45/62
C 07C 47/228
C 07C 45/71
C 07C 255/41
C 07C 253/30

C 0 7 D 453/02	
C 0 7 D 213/74	
C 0 7 D 295/08	Z
C 0 7 D 301/12	
C 0 7 D 303/12	
C 0 7 D 233/64	1 0 5
C 0 7 D 207/06	
C 0 7 B 61/00	3 0 0

【誤訳訂正書】**【提出日】**平成21年1月5日(2009.1.5)**【誤訳訂正1】****【訂正対象書類名】**特許請求の範囲**【訂正対象項目名】**請求項2 9**【訂正方法】**変更**【訂正の内容】****【請求項2 9】**

該化学反応が、ヘック反応、スズキカップリング、求核置換反応、加水分解、エステル化、エステル交換アルドール反応、エポキシ化、水素化、縮合、酸化反応、還元反応、水和反応、脱水、置換、芳香族置換、付加(カルボニル基に対するものを含む)、脱離、重合、解重合、オリゴマー化、二量化、カップリング、電子環状、異性化、カルベン形成、エピマー化、転化、転位、光化学、マイクロ波の補助した、熱、音響化学及び不均化反応から選択される、請求項1から2 8のいずれか1項に記載の使用。

【誤訳訂正2】**【訂正対象書類名】**明細書**【訂正対象項目名】**0 0 2 7**【訂正方法】**変更**【訂正の内容】****【0 0 2 7】**

本発明の塩基性イオン液体は、種々の化学反応において使用できる。該化学反応は、ヘック反応、スズキカップリング、求核置換反応、加水分解、エステル化、エステル交換アルドール反応、エポキシ化、水素化、縮合、酸化反応、還元反応、水和、脱水、置換、芳香族置換、付加(カルボニル基に対するものを含む)、脱離、重合、解重合、オリゴマー化、二量化、カップリング、電子環状、異性化、カルベン形成(carbene for mat ion)、エピマー化、転化、転位、光化学、マイクロ波の補助した、熱、音響化学及び不均化反応を含む。

本発明の塩基性イオン液体を用いて、反応、例えば上で列挙した反応を触媒し及び/又は促進しても良い。

該用語“触媒”は、本明細書で、標準的な開始剤、共開始剤、共触媒、活性化技術等を含む、全ての形態の触媒を含むために使用される。